



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	43,320	8.5	2,469	10.9	2,554	12.6	1,601	9.8
24年3月期第2四半期	39,940	6.9	2,226	31.6	2,268	27.7	1,458	8.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,546百万円 (△12.1%) 24年3月期第2四半期 1,758百万円 (134.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	21.26	—
24年3月期第2四半期	19.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	68,265	44,843	65.7
24年3月期	68,969	43,901	63.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 44,843百万円 24年3月期 43,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	8.4	5,300	10.9	5,300	7.8	3,500	14.9	46.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	76,924,176 株	24年3月期	76,924,176 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,572,162 株	24年3月期	1,569,158 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	75,353,509 株	24年3月期2Q	75,358,784 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 海外売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州を中心とした金融不安や中国を始めとする新興国経済の減速など依然として先行き不透明な状況です。わが国経済も、東日本大震災からの復興需要を背景とした緩やかな回復がみられたものの、欧州の債務・金融問題に起因した株価の低迷や円高による輸出環境の悪化、中国での日本製品不買運動等、厳しい経営環境が続いております。

当スポーツ業界におきましては、「第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)」の開催や、「FIFA U-20女子ワールドカップジャパン」の開催、さらには2020年オリンピックの東京招致活動などスポーツへの注目が高まりました。

このような状況の中、当社グループは当期を最終年度とする中期3ヵ年計画「Compass 2010」の達成に向けて引き続き各種政策を推し進めてまいります。

商品政策では、「コンプレッションウェア」事業の強化を目的に「スキンズ」のアジア6地域(日本・中国・韓国・台湾・香港・マカオ)における商標権を取得し、順次各国で展開してまいります。「アリーナ」ではロンドンオリンピック競泳日本代表サプライモデルの競技用水着「アクアフォース インフィニティー」、競泳用ゴーグルの「アクアフォース スイフト」を展開いたしました。また、戦略素材である太陽光遮蔽素材「サンスクリーン」や蓄熱保温素材「ヒートナビ」を使用した商品を引き続き国内外各ブランドで展開してまいります。

販売活動では、国内におきましては、4月に「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」で「ルコックゴルフ広尾店」、6月に「アリーナ」で「アリーナショップノース天神店」をリニューアルオープンいたしました。海外におきましては、シンガポールで「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」の直営店展開を開始するなど各国において引き続き店舗展開拡大を進めてまいります。

広告宣伝・販売促進活動では、国内におきましては、当社が契約を締結している北島康介選手・入江陵介選手・立石諒選手(以上アリーナ)がロンドンオリンピックの競泳種目でメダルを獲得。ゴルフでは宮里美香プロ・全美貞プロ・谷口徹プロ(以上マンシングウェア)、武藤俊憲プロ(ルコックスポルティフ)、佐伯三貴プロ(クレージュスポーツフューチャー)など当社契約のプロが各大会で優勝し、9月には恒例の「第43回マンシングウェアレディース東海クラシック」を開催するなど企業およびブランドイメージ向上に努めました。また、長野県白馬村で行われた「第2回白馬国際トレイルランニング」に協賛するなど、今後もランニング市場への積極的展開を行ってまいります。海外におきましては、イベント・大会への協賛等を通じて各国でのブランドイメージ向上に努めてまいります。

社会貢献活動では、群馬県みなかみ町と官民コラボレーション「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」の一環として、8月に「2012デサント・キッズスポーツ教室(サマー)」を開催いたしました。また、9月には宮城県石巻市、名取市の被災地仮設住宅集会所等で行う健康増強支援プログラム「東北元気アップ教室2012」をスタートいたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,320百万円(前年同四半期比8.5%増)となり、営業利益は2,469百万円(前年同四半期比10.9%増)、経常利益は2,554百万円(前年同四半期比12.6%増)、四半期純利益は1,601百万円(前年同四半期比9.8%増)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチック事業は堅調に、ゴルフ事業はほぼ横ばいに、アウトドア事業は減収に推移いたしました。結果、売上高は28,399百万円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益は1,192百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

(アジア)

アスレチック事業は好調に、ゴルフ事業は減収に、アウトドア事業は好調に推移いたしました。結果、売上高は14,907百万円(前年同四半期比25.9%増)、セグメント利益は1,361百万円(前年同四半期比48.8%増)となりました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心としたアウトドア事業を行っております。売上高は13百万円(前年同四半期比39.6%増)、セグメント損失は115百万円(前年同四半期は105百万円のセグメント損失)となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、ライフスタイル提案・レディスランニングウェアおよびレディスシューズの企画強化により「ルコックスポルティフ」が、チーム商品およびライフスタイル提案が市場ニーズを捉えた「アンブロ」が順調に推移いたしました。「アリーナ」はロンドンオリンピックでのプロモーション効果により競技用水着およびアクセサリーの販売が伸びたことで堅調に推移いたしました。アジア市場におきましては、韓国でランニングシューズおよびバッグ類等の現地企画が好評を博し「デサント」および「ルコックスポルティフ」が好調に推移いたしました。結果、売上高は26,805百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、「カルバン・クライン ゴルフ」の展開増もありましたが、「マンシングウェア」の販売不振により減収となりました。アジア市場におきましても、「カルバン・クライン ゴルフ」の展開増に加え、「ルコックスポルティフ」は韓国の月別にシリーズテーマを設定した商品企画により順調に推移いたしました。しかし、「マンシングウェア」は店舗の閉鎖などで苦戦し、ブランド撤退の影響もあり減収となりました。結果、売上高は14,530百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、アウトドア市場のニーズを捉えた「マーモット」が好調に推移いたしました。しかし、ブランド撤退の影響もあり、ほぼ横ばいとなりました。海外市場におきましては、スキーウェアの受注不振により減収となりました。結果、売上高は1,984百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は68,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ703百万円減少いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,238百万円減少し、50,297百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3,391百万円、その他に受取手形及び売掛金の増加835百万円、商品及び製品の増加1,143百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ535百万円増加し、17,968百万円となりました。これは有形固定資産の増加596百万円、無形固定資産の増加610百万円、投資その他の資産の減少670百万円によるものです。

負債合計は、23,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,645百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少1,167百万円、未払法人税等の減少350百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ942百万円増加し、44,843百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加998百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0%増の65.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ3,125百万円減少し、14,755百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,432百万円、減価償却費637百万円の計上がありました。売上債権の増加額821百万円、たな卸資産の増加額1,127百万円、仕入債務の減少額1,227百万円、法人税等の支払額1,168百万円などにより、1,274百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、1,149百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、韓国での物流倉庫の建設や、商標権の取得などにより、1,429百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、685百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額602百万円などにより、664百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、584百万円の支出超過）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成24年5月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

### 税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方によった場合と比較して、この変更が当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,442	15,050
受取手形及び売掛金	17,291	18,126
商品及び製品	13,345	14,488
仕掛品	74	81
原材料及び貯蔵品	453	503
その他	1,979	2,094
貸倒引当金	△49	△47
流動資産合計	51,536	50,297
固定資産		
有形固定資産	10,291	10,887
無形固定資産	578	1,189
投資その他の資産		
その他	6,724	6,060
貸倒引当金	△161	△169
投資その他の資産合計	6,562	5,891
固定資産合計	17,432	17,968
資産合計	68,969	68,265
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,862	13,694
未払法人税等	1,153	803
賞与引当金	775	778
返品調整引当金	373	401
その他	3,824	3,709
流動負債合計	20,989	19,386
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
退職給付引当金	996	1,063
その他	1,581	1,472
固定負債合計	4,078	4,035
負債合計	25,067	23,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	17,617	18,616
自己株式	△659	△660
株主資本合計	45,988	46,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△171	△405
繰延ヘッジ損益	△15	△13
為替換算調整勘定	△1,900	△1,724
その他の包括利益累計額合計	△2,087	△2,142
純資産合計	43,901	44,843
負債純資産合計	68,969	68,265



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	39,940	43,320
売上原価	20,276	21,337
売上総利益	19,664	21,983
返品調整引当金戻入額	3	—
返品調整引当金繰入額	—	27
差引売上総利益	19,667	21,955
販売費及び一般管理費	17,441	19,486
営業利益	2,226	2,469
営業外収益		
受取利息	25	34
受取配当金	24	54
その他	103	107
営業外収益合計	154	196
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	72	82
その他	39	28
営業外費用合計	111	111
経常利益	2,268	2,554
特別利益		
固定資産売却益	—	90
投資有価証券売却益	—	27
特別利益合計	—	117
特別損失		
投資有価証券評価損	—	239
特別損失合計	—	239
税金等調整前四半期純利益	2,268	2,432
法人税、住民税及び事業税	816	809
法人税等調整額	△6	21
法人税等合計	810	830
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,601
四半期純利益	1,458	1,601

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△233
繰延ヘッジ損益	16	2
為替換算調整勘定	271	170
持分法適用会社に対する持分相当額	2	5
その他の包括利益合計	300	△55
四半期包括利益	1,758	1,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,758	1,546

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,268	2,432
減価償却費	501	637
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	3
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3	27
退職給付引当金の増減額(△は減少)	87	72
投資有価証券評価損益(△は益)	—	239
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△90
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△27
受取利息及び受取配当金	△50	△88
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△431	△821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△218	△1,127
仕入債務の増減額(△は減少)	△865	△1,227
その他	502	△230
小計	1,814	△194
利息及び配当金の受取額	50	88
持分法適用会社からの配当金の受取額	21	—
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△737	△1,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149	△1,274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	262	183
定期預金の預入による支出	△200	△85
有形固定資産の取得による支出	△739	△1,155
有形固定資産の売却による収入	—	195
無形固定資産の取得による支出	△69	△718
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	36
その他	65	121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△685	△1,429
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△527	△602
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△56	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584	△664
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94	△3,302
現金及び現金同等物の期首残高	17,975	18,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,880	14,755

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,090	11,839	9	39,940	—	39,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,331	22	—	1,354	△1,354	—
計	29,422	11,862	9	41,294	△1,354	39,940
セグメント利益又は損失	1,403	915	△105	2,213	12	2,226

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額12百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、棚卸資産の調整額16百万円を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,399	14,907	13	43,320	—	43,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,442	51	—	1,493	△1,493	—
計	29,841	14,959	13	44,814	△1,493	43,320
セグメント利益又は損失	1,192	1,361	△115	2,439	30	2,469

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額30百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、棚卸資産の調整額31百万円を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	22,831	57.2	26,805	61.9	3,974	17.4
ゴルフウェア 及びその関連商品	14,946	37.4	14,530	33.5	△416	△2.8
アウトドアウェア 及びその関連商品	2,161	5.4	1,984	4.6	△176	△8.2
計	39,940	100.0	43,320	100.0	3,380	8.5

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	12,507	9	859	13,376
II 連結売上高				39,940
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	31.3	0.0	2.2	33.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	15,661	15	633	16,311
II 連結売上高				43,320
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	36.2	0.0	1.5	37.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。